

② ^{ながいの}永井野小学校のまわりのようす



▲永井野小学校のまわりのこう空写真^{くうしやしん}（平成4年10月さつえい）

永井野^{ちく}地区は高田地区ととなりあっていて、ほとんどが平地になっていて本村^{ほんそん}とまわりのいくつかの地区にわかれています。

東側の宮川^{みやかわ}と西側の明神ヶ岳^{みょうじんがたけ}につらなる山並^{なみ}にかこまれています。国道401号と町道7号線が南北にならんで通っていて、交通がべんりです。

平地に田と畑が広がっていて農業がさかんに行われています。米づくりとりんごづくりが中心^{ちゅうしん}になっています。それでも、農業をせんもんに行っている農家は少なく、会津若松市や町内の商店^{しょうてん}や工場につとめている人が多くみられます。農業のほかに工場、せい材所^{ざいしよ}、温せんで働^{はたら}くなどいろいろな仕事をしています。

上戸原^{じょうとほらちく}地区には町の体けん農場^{たい}があります。町内の各小学校がじゃがいも、さつまいも、りんごづくりなどの体けん学習をしています。最近^うは田植え、いねかりなど米づくりも行われるようになりました。